

発掘調査の概要

長屋王邸の調査(平城第329次)

今年の夏現場班の発掘調査は、長屋王邸の調査から始まりました。調査地は長屋王邸の内郭西南部分に相当します。6月26日から7月12日まで210㎡の発掘調査をおこない、大型の掘立柱穴5基、掘立柱南北塀3列、自然流路などを検出しました。大型

掘立柱穴は、調査区の東端で南北方向に5基並んでいます。過去に東側で行った調査では、東西棟の掘立柱建物の柱穴を検出しており、それらと一連のものと考えられます。



これまでこの建

長屋王邸検出遺構

物は、北に位置する長屋王邸正殿との関係から桁行9間の建物と予想されていましたが、今回の調査で桁行7間であることが確定しました。